

当社は、1992年7月1日の設立からおかげさまで30周年を迎えることができました。青森県ならびに六ヶ所村の皆さまのご理解とご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

日本原燃サービス、日本原燃産業の設立時期から約40年にわたり、国のエネルギー政策に協力し、当社施設を受入れていただいた地域の皆さまの思いや、立地から現在に至るまでに皆さまからいただいたご厚情を決して忘れることなく、社員がしっかりと認識すること、そして、今後の当社を担う次世代の社員にも継承していくことを目的に、当社のこれまでの歩みを「日本原燃株式会社30年史」として取りまとめ、このたび完成いたしました。

## 構成…全体で約520ページ

### I. 社長メッセージ

### II. 日本原燃のあゆみ

1950年代に日本が原子力や原子燃料サイクルを推進しはじめた頃から現在までの主な出来事を5つの時期に分けてまとめました。

- 第1章：1952年～1979年「日本の原子力と原子燃料サイクル政策の幕開け」
- 第2章：1980年～1991年「日本原燃サービス設立から日本原燃産業との合併」
- 第3章：1992年～2003年「日本原燃設立から六ヶ所村本社移転まで」
- 第4章：2004年～2010年「再処理工場ウラン試験開始から東日本大震災まで」
- 第5章：2011年～2022年「東日本大震災から現在まで」

### III. 地域と共に、仲間と共にあゆむ日本原燃

- 地域の声  
六ヶ所村長 戸田 衛 様（P.324～）、六ヶ所村議会議長 高橋 文雄 様（P.328～）をはじめ、多くの皆さまからメッセージをいただきました。
- 地域と共に、仲間と共に  
長茅焼酎「六趣」の誕生、「日本原燃ふれあいコンサート」、「青森県・げんねんジュニアロボットコンテスト」等の取組みを掲載しました。

### IV. 日本原燃関係会社紹介

### V. 原子燃料サイクル施設概要 今日までの経緯と現状

### VI. 資料編

## 【社史をご覧になられた方の感想】

長きにわたる六ヶ所村と日本原燃との関わりを知ることができる貴重な資料だ。過去と現在の六ヶ所村内の航空写真（P.516～）を見ると、施設、建物も多くなり、ずいぶん変わってきていると感じる。

30年の記録を後世に語り継いでいくことは大変重要なことだと思う。

当社の事業は、地域の皆さまの信頼があって初めて成り立つものであり、長年にわたって支えていただいている地域の皆さまへの感謝の気持ちを忘れることなく、これからも地域とともに歩み続け、地域の発展に貢献していきます。